

子どもに冷たい高島市政

つぎつぎ明るみに...



議会報告

日本共産党

福岡市議団

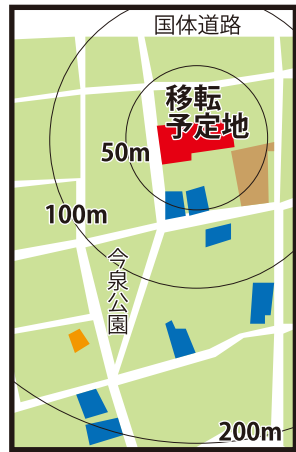
風俗施設の近くに保育園を移転、市立幼稚園を一つ残らず廃止……保護者や関係者がどんなに反対の声をあげても、高島市長は冷たく強行しています。他にも子ども病院の人工島移転、少年科学文化会館のホールをなくす問題など、子どもに冷たい高島市政の問題が次々うかびあがっています（2～3面にくわしく報道）。市議会で日本共産党が追及しました。

共産党と市民が力あわせ市長追及

中央保育園移転 4つの大問題

- ラブホテル
- 風俗店
- パチンコ店

※福岡市提供資料より作成



移転先には風俗営業法の規制対象となる施設が半径50メートルの中に、パチンコ店1軒、半径200メートルにラブホテル7軒、風俗店が1軒あります。

風俗店が保育園そばでは健全育成妨げる

福岡市がラブホテルや風俗店の多い場所に、中央保育園の移転を進めている問題について、日本共産党の星野美恵子市議は6月24日、福岡市議会で高島市長に一般質問をおこないました。中央児童会館の建て替えで、市は同園を現地に存続させず、移転するように決定しました。

問題点① すぐとなりパチンコ店、ラブホテル...

子どもに冷たい高島市政

②超マンモス化 ③狭い道路 ④パチンコ店通る避難経路

4つの大問題

移転予定地に接する道路は西側の6メートル足らずの一方通行道路のみで、通行車両も多く、

狭い道路を3000人の子どもが毎日

市計画では移転後に中央保育園の定員は300名に。星野市議は、こんな超マンモス保育園は福岡市でも1カ所、全国の政令市でも21カ所しかなく、「異例中の異例」と指摘しました。市が最初から300名規模に適合した土地しか探していない事実も、質問で明らかになりました。保育所を新設せずに待機児童増加をまねいた市の責任を棚上げして、マンモス園で対応しようとすることは許されません。

市の計画では火災時は園庭にとどまり消防を待つというものの、園外への避難経路は東側のパチンコ店を通るしかありません。これではとても子どもたちの安全は守れません。

災害時はパチンコ店に避難



中央保育園の保護者と保育士との記者会見（6月24日）※YouTubeの画面より

一時停車の余裕もありません。星野市議は「乳幼児を連れては送迎できない」と議場で写真を示して批判しました。共産党や父母の批判をうけ、市はあわてて道路整備などの「対策」を発表しましたが、300人も子どもや保護者が毎日行き交う危険を、根本的に解決するものになっていません。

1面からのつづき

市長をたたく星野美恵子市議（6月24日）



こんな狭い道路に300人も子どもが（右側が予定地）

日本共産党が移転計画の白紙撤回せまる

子どもよりも企業の利益優先

保護者や保育士らから反対の声に包囲された市長は急ぎよ保護者らと会見しましたが（7月17日）、その心配・不安には何ら応えず、翌日には着工することを表明しました。



中央保育園の移転 疑惑

移転予定地は、市が2011年5月に候補地選定を始めてから、わずか2ヶ月で決定。決定直後の9月に、不動産会社・福住（河野孝雄社長）が北九州の会社からこの土地を買取って（右図）、今年4月の市の購入金額は8億9000万円。1億円を超える転売益が生じた可能性があります。

市幹部が不動産会社に天下り

2011年7月に市の元幹部・酒井勇三郎氏（港湾局長・博多港開発社長歴任）が福住に天下りしていたことが発覚し



ました。「土地ありきの移転」「市幹部や政治家の関与は…？」など疑惑だらけです。徹底した調査を行い、市民と議会に公表すべきです。

日本共産党福岡市議団

- 宮本 秀国 市議団団長（南区）
- 星野 美恵子 市議団副団長（中央区）
- 中山 いくみ 市議団幹事長（早良区）
- 熊谷 敦子 市議会議員（西区）
- 綿貫 英彦 市議会議員（東区）

生活相談は ☎ 711・4734

仁比そうへい参院議員と懇談



仁比議員（左端）と懇談

日本共産党福岡市議団は、8月3日、先の参院選で返り咲いた仁比そうへい参院議員と市議会棟で懇談を行い、中央保育園の移転問題、市立幼稚園の全廃計画、国民健康保険料の引き下げ、人工島問題、生活保護切り下げ問題などで連携し、市民の声と運動を国政にも反映していくことを確認しました。

つづきは4面に

らに「風俗施設の意味を幼児は理解できない」などと発言。日本共産党の中山いくみ市議が委員会で追及すると、撤回・謝罪に追い込まれました。高島市政が見えぬ姿勢で推進してきたことが浮き彫りになりました。

市立幼稚園

「なくさないで」の 父母の声なぜ聞けぬ

日本共産党福岡市議団の中山いくみ市議は6月21日、福岡市議会で一般質問にたち、市立幼稚園の全廃問題について市長・教育長をたどしました。

東から自主避難してきたが、途中入園を受け入れてくれて救われた」など涙ながらの訴えがあったことが明らかになりました。



市長をたどす中山いくみ市議（6月21日）

中山市議は、市長や教育長には「子どもの最善の利益」をうたった子どもの権利条約の視点が欠落していると指摘。「6万6千筆の廃止反対署名の声にこたえ、廃止検討をやめて拡充を」「行革プランから『廃止』を外せ」と迫りましたが、市長は「民間が担うことができるものは民間に」「廃園が適当と判断した」との従来の答弁を繰り返しました。

説明会や。パブコメの意見は廃止反対

中山市議は、この間おこなわれた各園での説明会やパブリックコメントでどういう意見が出たかを質問。「障害がある子を快く受け入れてくれた。大事な場をなくさないで」「関

「子どもの最善利益」 欠落した高島市政

また、市教育委員会は、説明会で実際の募集定員とは違う数を資料にのせ、わざと応募が少ないかのように見せようとしていました。中山市議は、関係者から再三訂正の要求が

反対署名 6万6千提出

あったのに、市教委が訂正をしなかった問題を追及。さらに廃園の方向を決めた教育委員会会議を非公開にしたことを批判しました。これにたいし、教育長は「資料は」事実に基づく」「非公開は適当」と不誠実な答弁をしました。

委員会傍聴の採決時退出

自民党が反対し 見直しならず

8月2日の議会運営委員会で、委員会の採決時の傍聴者の退出をやめるなどの改善を求めた請願の審査が行われました。日本共産党は「退出させるのは政令市で福岡市だけ。おかしい」と見直しを主張しましたが、自民党が採択に反対し、同請願は継続審査となりました。

件名	請願者
年金 2.5% の削減中止を求める意見書議決について	福岡市社会保障推進協議会
市立幼稚園廃園の見直しについて	市立幼稚園の存続を求める会
より豊かな保育・教育制度の拡充と子育て支援制度を求める意見書議決について	福岡県保育団体連絡会
マンション建設の指導について（中央区平尾五丁目地区）	平尾山荘（野村望東尼）の住環境を守る会

6月議会レポート 新たに出された請願

少年科学文化会館

全国に例もなく、メリットもない民間賃借方式やめよ

星野美恵子市議は、6月議会で少年科学文化会館の文化ホール存続、民間賃借の問題について質問しました。

直接施工なら計5億円 安く土地も残る

同館は六本松の九大跡地に移転され

ますが、市は民間が建てたビルに賃借入居するとしています。星野市議の質問で全国でもこうした方式は例がないことが明らかになりました。

また、民間賃借の方が安上がりだとする市の試算を批判。「初めの30年間は直接施工のほうが高いが、60年間でみればトータルで5億円安く

るし、土地も残るではないか」と追及しました。子ども未来局長は「30年以後は試算が困難」として反論ができませんでした。

星野市議が「子どものためのホールを含め、市直接施工でつくるべきではないか」とたどしましたが、市長は変更しようとしませんでした。



反対討論で「子どもに冷たい高島市政」を批判する熊谷あづ子市議

件名	請願者
治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める意見書議決について	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
国際リニアコライダー（ILC）を日本に誘致しないよう求める意見書議決について	博多湾会議

こども病院移転

代替の小児科新設 何の保障もなし

こども病院を人工島に移せば市西部の小児二次医療が空白になります。

高島市長は「現在地周辺で新たな地域医療の核となるような小児科を新設する」と約束していました。

この問題について、6月議会で星野市議が質問しました。

これではとても対応できません。

星野市議は「成人病センターを移転し、小児科を新設」という記者会見での市長の言明とはほど遠いものと批判しました。

計画見直さない市長

星野市議は「現地に新しい小児科をつくれ」と求めましたが、市長は「体制確保に努めていく」と述べるだけでした。

また、市民に隠れて人工島病院用地の耐震対策の地盤改良工事をしてきたことも追及しました。

株式会社の保育所参入

「福岡市では認めていない」 局長が明快に答弁

保育所に入れない子どもが増える中、保育所整備への企業参入を大幅に取り入れた「横浜方式」が話題になっています。中山いくみ市議は、福岡市で「横浜のように株式会社の参入を認めてはならないと思うがどうか」と質問。子ども未来局長は「福岡市では、保育所の安定的な運営を確保するため、現在、株式会社の参入は認めておりません」と答弁しました。中山市議は、公有地の提供など保育所の新築中心に待機児童解消をすすめよと求めました。

待遇改善すすめ保育士の確保を

また、中山市議は、保育士の処遇改善が運動によってすすみつつあるとした上で、「ある保育士は、正規として23年働いて手取りは月23万円程度、常勤で正規と同じ働き方をしているパート保育士は少ない月には9万円の賃金、これでは病院にも行けない」などの実態を告発。市独自にさらに賃上げを行うべきだと迫りました。

主な議案への賛否

会派名	日本共産党	自由民主党	公明党	民主市民クラブ	みらい福岡	社民市政クラブ	維新無所属の会
主な議案 賛成=○ 反対=●							
屋台基本条例	●	○	○	○	○	○	○
市職員の給与引き下げ条例	●	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○

※日本共産党は6月議会で市長提案の23件の議案のうち17件に賛成、6件に反対（賛成率74%）。

可決された意見書案

（●は共産党立案、○はその他）

- 風営法のダンス規制の見直しを求める意見書案（可決、左参照）
- 少人数学級の推進と教育予算拡充を求める意見書案（自民が反対）
- 地方公務員の減額給与関係経費並びに地方財政の充実及び強化に関する意見書案（自民・みらい・維新が反対）

日本共産党の質問 あらかると



質問する綿貫英彦市議

市職員の賃下げやめよ

日本共産党の綿貫英彦市議は6月20日の本会議で、市職員給与引き下げ議案について質問。平均で24万円、課長級では60万円、市全体で9500人、総額27億円の引き下げになり、地域経済に大きな影響を及ぼします。綿貫市議は、政令市の多くが国の要請に従っていない事実をあげ、財政問題でいうなら、人工島など無駄な大型開発こそ見直すべきだとして、計画の撤回を求めました。

屋台条例は市民の合意ない

また、綿貫市議は、屋台を規制する条例についても質問。屋台関係者、周辺住民などからの聞き取りをもとに、どちらからも合意を得ていないにもかかわらず、指導要綱から条例にして行政の強制力を強めるのは問題だとして、条例の撤回と市民的議論を求めました。

障害者の移動支援強化、 精神障害者への割引運賃を

中山いくみ市議は、障害者問題について6月議会でとりあげ、移動支援に散歩などを加えること、知的障害者への支援の差別をやめること、精神障害者への運賃割引の実施、総合福祉法の制定などを求めました。

ダンス規制見直し 意見書が採択されました！

共産党立案 政令市では画期的

戦後すぐに原型がつくられた風俗営業規制法（風営法）によって、いまだにダンスは規制の対象になっています。法を見直し、ダンスを規制対象から外すよう、ダンス関係者や文化人から声があがり、超党派の国会議員連盟もできています。福岡市でも見直しを求める市民団体が立ち上がり、日本共産党市議団とも懇談をしてきました。

今度の6月議会において、日本共産党の立案で、風営法のダンス規制を見直す趣旨の意見書が提案され、日本共産党、公明、民主、社民、維新などの賛成で採択されました。政令市での採択は画期的です。

